

栃木県誕生 150 年記念名刺 クイズと答え

Q1 初代栃木県庁舎があったのは現在の何市？

A1 栃木市

現在の栃木市入舟町に建てられました。初代県庁舎の周囲には約 1k mに及ぶ堀が「県庁堀」として今も残っており、多くの鯉が群れ泳ぐ姿を見せています。

Q2 栃木県民の日は何月何日でしょう？

A2 6月15日

明治6(1873)年6月15日に栃木県と宇都宮県が合併し、ほぼ現在の栃木県となったことにちなみ、昭和60(1985)年に条例により6月15日が栃木県県民の日と定められました。

Q3 栃木県民の日マスコットキャラクターの名前は？

A3 ルリちゃん

県民の日のマスコットとして昭和61(1986)年に誕生しました。

県鳥「オオルリ」をモデルに、県木「トチノキ」の葉を持ち、ほほえみかけているデザインで、名前は公募により「ルリちゃん」と命名されました。

Q4 栃木県の県獣、県木、県鳥、県花は何でしょう？

A4 県獣：カモシカ 県木：トチノキ 県鳥：オオルリ 県花：やしおつつじ

カモシカ：県北西部の奥深くにすみ、性格はおとなしく草や木の葉などを食べています。

トチノキ：葉は手を広げたような形をしており、5月頃、白やピンクの優雅な花を咲かせます。

オオルリ：日本三大鳴鳥の一つに数えられる渡り鳥で、5月頃南方から渡ってきて10月初め頃まで日光、塩原、那須などの溪谷にすんでいます。

やしおつつじ：那須高原、塩原、日光などを中心に、県中央部や南部の山地にも広く分布しているツツジ科の落葉低木です。

Q5 栃木県が50年以上連続して生産量日本一の農産物は？

A5 いちご

平成30(2018)年、50年連続生産量日本一を契機に、1月15日を「いちご王国・栃木の日」として宣言しました。「いちご」といえば栃木県」とのイメージを広めるため、「いちご王国」プロモーションを展開しています。